

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	大学・大学院における専門医療人材養成機能強化事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	医学教育課		医学教育課長 村田 善則		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	がん対策基本法第14条		関係する計画、通知等	がん対策推進基本計画(平成19年6月閣議決定) 新成長戦略(平成22年6月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	がんは、わが国の死因第1位の疾患であり、国民の生命及び健康にとって重要な課題となっていることを踏まえ、国民に対する最適で安心・安全ながん医療の提供に資するため、大学院における教育環境の整備充実を行い、がん医療にかかる幅広い知識や高度な技術を有するがん専門医療人の養成を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	がん医療に関する幅広い知識や高度な技術を有する、放射線療法や化学療法等のがん医療を専門的に担う医師、看護師及び薬剤師等の医療人の養成のため、国公立大学を対象に、大学院医学研究科等においてその養成を図る取組に対して教育環境の整備充実にかかる支援を行う。(補助率:定額補助)							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	1,902	2,002	2,002	2,015	3,140	
	執行額		1,900	2,001	2,000			
	執行率(%)		100%	100%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	がん専門医療人の養成人数(コース受入数)		成果実績	人	693	683	607	613
			達成度	%	113%	111%	99%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	がんプロフェッショナル養成プラン連携大学数		活動実績 (当初見込み)	件	92	94	94 (94)	(95)
単位当たりコスト	21.3(百万円/大学)		算出根拠	1大学当たりのコスト =平成22年度執行額(2,000百万円)/連携大学数(94大学)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	大学改革推進等補助金	2,013百万円	3,135百万円	※事業の再構築による減及び新規採択の実施等による増				
	大学改革推進等補助金事務費	2百万円	4百万円					
	計	2,015百万円	3,140百万円	(注)四捨五入の関係で計数は一致しない場合がある				

事業所管部局による点検			
	評 価	項 目	特記事項
目的・予算 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、 使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業により、事業実施後毎年600人を超える学生ががん専門医療人の養成コースにて学んでおり、がん医療を専門的に担う医療人の養成が図られており、将来的には、国民に対する最適で安心・安全ながん医療の提供が期待される。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 ・なお、がん医療に加え、昨今の医療全体の課題であるコメディカルを含めたチーム医療の推進の観点から、平成23年度においては、同規模の予算内で、看護師・薬剤師等の医療人養成に取り組むこととしている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1. 事業評価の観点：この事業は、がん医療に関する幅広い知識や高度な技術を有する、放射線療法や化学療法等のがん医療を専門的に担う医師等を養成することを目的とした国公立大学に対する補助事業であり、予算措置手法・実施体制の観点から検証を行う。 2. 所見：本事業については、昨年度のレビューを踏まえ、予算の見直しを図ったところであるが、平成24年度から第2期がん対策推進基本計画に移行することに鑑み、事業内容を精査し事業の再構築を行うべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
事業実施にあたり、第1期がん対策推進基本計画が平成23年度で終了し、平成24年度から第2期がん対策推進基本計画がスタートすることから、がん専門医療人の養成事業を発展させることとし、事業の再構築を行うことで、概算要求に▲1,950百万円反映した。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
◆がんプロフェッショナル養成プラン選定大学の取組状況 http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/gan/1305652.htm ※平成22年度までは「がんプロフェッショナル養成プラン」として事業を実施してきたところ。平成23年度からは、がん専門医療人の養成に加え、医療全体の課題であるチーム医療の推進の観点から専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業を新たに開始し、看護師・薬剤師等も含めた高度な専門医療人を養成する事業として名称変更している。			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

文部科学省
2,000百万円

庁費 0.04百万円 を含む

(がん医療に特化したがん専門医師、薬剤師及び
看護師等の医療人を養成し、がんの横断的・集
学的な診療を行う体制の整備を図るための取組
を支援。)

【公募・補助】

※国費投入額と総事業費の差額は自己収入である。

がんプロフェッショナル養成プラン
A.大学(全18大学)
2,166百万円

(拠点となり、連携する大学・大学病院等との緊密な
ネットワーク体制を構築することにより、放射線療
法、化学療法等を専門的に行う多くの優れた専門
家を養成する。)

【分担金】

B.連携大学(全76大学)
988百万円

(申請担当大学と連携して放射線療
法、化学療法等を専門的に行う多く
の優れた専門家を養成する。)

※平成23年度からは、専門的看護師・薬剤
師等医療人材養成事業を実施予定

(岡山大学のケース)

A. 岡山大学
160百万円

(岡山大学では7大学と連携し、「中国・四
国広域がんプロ養成プログラムーチーム
医療を担うがん専門医療人の育成ー」を
実施)

【分担金】

B. 徳島大学 28百万円	香川大学 17百万円	愛媛大学 16百万円	山口大学 15百万円
高知大学 10百万円	高知女子大学 8百万円	川崎医科大学 3百万円	

(岡山大学と連携して放射線療法、化学療法等を専門的に行う多
くの優れた専門家を養成する。)

【随意契約・委託】

C. 木村情報技術株式会社
5百万円

(Webサーバ管理、コンテ
ンツ管理・配信)

※国費投入額と総事業費との差額は自己収入(授業料等)である。

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.岡山大学			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	分担金	連携7大学への分担金	98			
	人件費	臨床実習指導医師、講習会講師謝金、事務補佐員	24			
	旅費	外国人招聘等旅費、講演会旅費等	8			
	印刷製本費	広報用ポスター、パンフレット、報告書等印刷製本費	7			
	研修参加費	海外先進施設研修参加費	7			
	委託費	webサーバ管理、コンテンツ管理・配信業務	5			
	借料・損料	講習会・フォーラム会場借料	4			
	その他	通信運搬費、書籍・試薬等講義・実習用消耗品費等	7			
	計		160	計		0
	B.徳島大学			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	設備備品費	顕微鏡解析システム、気管支内視鏡トレーニングシステムモデル	10			
	人件費	臨床実習指導医師等	8			
	旅費	講師招聘等旅費、講演会旅費等	7			
	事業推進費	講習会・フォーラム会場使用料、書籍、消耗品費等	3			
	計		28	計		0
	C.木村情報技術株式会社			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業推進費	コンテンツ管理・配信業務	3			
		webサーバ管理	2			
	計		5	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岡山大学	中国・四国広域がんプロ養成プログラム	160	-	-
2	大阪大学	チーム医療を推進するがん専門医療者の育成	156	-	-
3	北里大学	南関東圏における先端的がん専門家の育成	143	-	-
4	順天堂大学	実践的・横断的がん生涯教育センターの創設	135	-	-
5	千葉大学	関東広域多職種がん専門家チーム養成拠点	134	-	-
6	群馬大学	北関東域連携がん先進医療人材育成プラン	133	-	-
7	名古屋大学	臓器横断的がん診療を担う人材養成プラン	123	-	-
8	鳥取大学	銀の道で結ぶがん医療人養成コンソーシアム	114	-	-
9	金沢大学	北陸がんプロフェッショナル養成プログラム	112	-	-
10	札幌医科大学	北海道の総合力を生かすプロ養成プログラム	112	-	-

B.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	徳島大学	がん専門医師養成、がん専門コメディカル養成等	28	-	-
2	香川大学	がん専門医師養成等	17	-	-
3	愛媛大学	がん専門医師養成等	16	-	-
4	山口大学	がん専門医師養成等	15	-	-
5	高知大学	がん専門医師養成、がん専門コメディカル養成等	10	-	-
6	高知女子大学	がん専門コメディカル養成等	8	-	-
7	川崎医科大学	がん専門医師養成等	3	-	-

※表示単位未満四捨五入の関係で、合計と資金の流れの数値とは一致しない。

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	木村情報技術株式会社	e-learningコンテンツ管理・配信に関する業務、webサーバ管理に関する業務	5	随意契約	-